



さいとう 誠 誠策で勝つ

船橋市議会議員

〒273-0021 船橋市海神4-22-12

TEL・FAX 047-431-1717

E-mail seisaku@jasmine.ocn.ne.jp

URL <http://seisaku-makoto.com>

自転車安全利用対策視察

10月24日、自転車安全利用対策として、仙台市を視察しました。

仙台市は、先の9月議会で、自転車の安全利用に関する条例が全会一致で可決されました。

大きなポイントは、自転車損害賠償保険への加入義務化です。

自転車利用者は保険に加入しなければなりません。

但し、罰則はありません。

また、自転車小売業者は、自転車販売時、購入者に対して、保険加入の有無を確認し、情報提供するよう努めなければなりません。

こちらは努力義務です。

仙台市としては、保険加入を義務付けても、車検制度になっているわけではなく、全ての利用者が保険加入することが難しいことはわかっていますが、市として自転車事故を減少させていこうという意志を示した

いとのことでした。

その姿勢には、心から敬意を表します。

過去のアンケートから、保険加入率を4割程度と推定しています。

賃貸に住んでいる方は個人賠償保険に加入しているので、この保険加入対象になり、マイカー特約に賠償保険が付保されている場合も対象になるということを職員が説明しています。

以上から若年世代は保険加入しているが、持ち家率の高い高齢者は加入率が低いと分析しています。高齢者への保険加入を働きかけていくとのことでした。

仙台市は、自転車安全利用推進のため、壮大な実験に取り組んでいます。

少しでも事故を減少させようという姿勢は見習うべきです。

本所防災館視察

10月29日、東京消防庁の本所防災館、東京都民防災教育センターを視察。暴風雨体験、地震体験、水圧体験、消火体験をしました。

暴風雨は、大人は風速30メートル、雨量50ミリ。

小学生は風速10メートル、雨量30ミリを体験できます。

想像以上の風速、雨量でした。

地震は、大人は震度7、阪神淡路大震災と同じ直下地震を体験できます。

地割れがしていると思うほど、物凄い威力を感じました。

起震車は横にしか揺れませんが、この施設は縦横に揺れます。

東日本大震災時の船橋の震度5弱とは、比べものにならない地震の大きさと実感しました。

とてもショックでした。

水圧体験は車に乗った状況で水位30cmを体験しましたが、こちらは10秒以内に開けることができました。

しかし、普通のドアで水位30cmは開けることができませんでした。

水圧が倍違うとのことでした。

実際に同じ状況になった場合、パニックになって、何もできないかもしれません。冠水する前に、脱出をする、又、不要不急に外出をしないことが重要であると教えていただきました。

貴重な体験をしました。

梨農家支援事業視察

10月24日、梨の各種支援事業をテーマに、宮城県利府町を視察。

梨の栽培としては、長十郎が明治30年頃から始まりました。

現在は、栽培面積比率としては、あきづきが38.2%でトップです。

梨農家数は、昭和40年度280戸だったのが、平成29年度で75戸にまで減少しており、高齢化と担い手不足が大きな課題です。

梨の新品種を促進するため、苗木購入の補助制度があります。

高齢化、担い手不足により、花粉交配の手間を省くため、マメコバチ導入の補助制度があります。

また、第6次産業に力を入れており、梨の加工品を販売しています。

一番人気は梨ワインです。

他、梨ジュース、サブレ等です。

県の補助事業を使い、町主導で第6次産業を促進させたとのこと。

ただ、原材料に限界があるため、大量生産をすることはできません。

第6次産業を成功させるためには、役所と農家、加工・流通業者のやる気が必要であると思いました。

担い手対策として、梨農業について3年研修させていますが、結局、町に定住せず、又、定住しても、別の事業に行ってしまうなど、なかなか、うまくいかないとのことでした。

焼却灰再利用施設視察

10月23日、市民環境経済委員会で焼却灰再利用施設、八戸セメントを視察。

船橋市の焼却灰 19856トンのうち、約 3000トン、15%を八戸セメントに持ち込んで、セメントにリサイクルしてもらっています。

因みに、本市では 45%はリサイクルではなく、埋立処分をしており、埋立率を下げようとしています。

八戸セメントは大正7年に日出セメント(株)として創立。

当時の原敬元首相が農漁業のみの八戸にセメント工場を設立することを提案。

セメントの原料である石灰石は未だに無尽蔵の状況であり、その先見の明には驚かされるばかりでした。

1日 4000トンのセメントを生産していますが、そのためには 6000トンの原料が必要とのこと。

そのうち 80%が石灰石。

船橋市の焼却灰は1日辺り 10トンにすぎません。

つまり0. 16%にすぎません。

運びこまれる全焼却灰は1日 60トンであり、セメントの原料としては、1%にすぎないことがわかりました。

八戸セメントとしては、焼却灰等無くても十分に操業できるわけです。

受け入れしていただいていること

に感謝をしなければならぬと実感しました。

運び込まれる焼却灰は40ミリ以上と以下に分けられ、以下のものは、即セメントの原料に、以上のものは、もう一度、振るいにかけて、40ミリ以上と以下に分けられます。

手作業で行います。

悪臭がして、作業員の方は大変苦勞なさっています。

40ミリ以上の中には、ステンレスボトル、一斗缶のようなものがありました。可燃ごみに含まれていたわけです。

分別作業は数回繰り返しますが、残った鉄屑はセメントに再生できないため、売却されます。

因みに、セメントに再生するに当たっては、焼却灰を1450度で燃焼しますが、近くによると半端な暑さではありませんでした。

八戸セメントでは、焼却灰をこれ以上、受け入れすることはできないとのこと。

他の自治体から受け入れの働きかけがあり、限界とのことでした。

本市としては、ごみ分別を徹底して、八戸セメントへの持ち込み量を減少させる努力が必要であると実感しました。

お知らせ

Twitter・Facebook・instagram
ご覧ください。
斉藤誠で検索してください。
よろしくお願いします。

無料法律相談どうぞ

下記の通り、ご案内しますので、
お気軽にご相談ください。

記

日時 2019年2月16日(土)

13時から16時

窓口 さいとう 誠まで。

TEL 047-431-1717

尚、相談時間はお1人様30分とさ
せて頂きます。(予約制です)

お気軽にご相談ください。

なんでも労働相談

経済不況の最中、雇用契約の更新
がされなかったり、途中で雇用契約
解除がされるという相談が増えてい
ます。連合千葉総武地域協議会では、
給与・残業代不払い、休暇、労働
時間、解雇、退職金、労働災害、
労災・雇用保険などに関して、無料
労働相談を受けています。

お困りの方は、ご相談ください。

記

日時 12月21日(金)10時～16時

場所 船橋市勤労市民センター

連絡先 047-401-8126

次回は 1月18日(金) です。

活動日誌

- 11月1日 海神小コンサート
連合千葉総武地協西日
本豪雨カンパ活動
- 2日 連合千葉退職者連合総
武地協と意見交換
- 4日 ふなばし健康まつり見学
- 5日 議会報告原稿作成
- 6～7日 議会運営委員会視察
- 8日 会派代表者会議
京葉弁護士会懇親会
- 9日 中央老人センター文化祭
- 10日 海神中学校・行田中学校
バザー見学、
海神4, 5丁目自治会
文化祭見学
野田剛彦県政報告会出席
- 11日 行田フリーマーケット見学
- 13日 議会運営委員会
連合千葉議員団会議総会
- 15日 連合千葉総武地協委員会
議案説明会
- 16日 第4回定例会開会
議会運営委員会
- 17日 海神小学校・船橋中学校
バザー見学
- 18日 西海神めだかの会秋祭
海神朝市参加
- 19日 議案説明会
- 24日 消防フェスティバル
野田よしひこ座談会
海神6校親父の会交流会
- 25日 車椅子レクダンスパーティ